

平成16年 今年の10大ニュース

平成16年(2004年)も残りわずかとなってきました。区民の皆さんにとって今年はどうな1年でしたでしょうか?

今年も区は、江東区政世論調査(平成15年12月公表)における85.2%という依然高い定住意向を背景に、より一層効率的な行政運営で、区政の伸展に努めてきました。

今号では、江東区のこの1年を振り返り、こうとう区報でご案内した記事を中心に、今年の10大ニュースをお届けします。(1・8面で紹介)

1月

小津安二郎紹介展示コーナー開設1周年 特別展「今よみがえる小津安二郎の世界」開催

昨年、古石場文化センター内に開設した小津安二郎紹介展示コーナーでは、開設1周年を記念して、今年1月に常設展の展示替えと特別展を開催しました。映画のスチール写真

やポスター、家族との写真などを展示し、大好評を博しました。同コーナーでは来年1月に、開設2周年特別イベント「小津安二郎が遺したもの」を開催します。



▲特別展に多数の来館者を集めた小津安二郎紹介展示コーナー

1月

「マンション建設計画の調整に関する条例」を施行



▲区内で急増するマンション建設

近年区内では、マンション建設の増加により、人口が急増し、一部の地域で学校等への受け入れが困難な状況となっています。

1月1日に施行した条例では、マンション建設事業の届け出を事業者

に義務付け、公共公益施設への受け入れの調整を図るとともに、受入困難地区においては、マンション建設を行わないように協力を求めることとしました。

3月

清砂大橋開通・永代通り延伸 (南砂町~清新町)



荒川と中川に架かる清砂大橋が、3月28日に開通しました。清砂大橋は、全長1,317.2mで、東京都の管理する橋の中で2番目の長さを誇ります。

また、これに伴い、永代通りが明治通りから江戸川区清新町まで延伸し、区内幹線道路の交通の円滑化と防災性の向上、物流や地域の活性化が図られました。

▲盛大なセレモニーで歴史の幕を開けた清砂大橋

3月

▶東京湾の新たなランドマークとして注目を集める若洲の風車



若洲海浜公園に国内最大級の風車完成
アトムがシンボルキャラクターに

若洲海浜公園多目的広場に国内最大級の風車が完成しました。高さ100m、年間350万kWhを発電する巨大な風車のタワー部には、シンボルキャラクターの鉄

腕アトムが描かれています。JR京葉線の車内などからも望むことができるその雄大な姿は、東京湾の新たなランドマークとなりました。